

① 学習指導案

プログラム	No.02「これはどこだ？探してみよう まちパーツ」
単元名 (全6時間)	地域の伝統やまちなみ (全6時間)
学習のねらい	身近な景観を構成する要素の多様性に気づき、その特性を把握する。 ふだん見慣れた景観を構成する素材の面白さに関心をもつ。
学習内容	1 建物の中に様々な要素があることに気づく。 2 様々な要素を写真に撮る。 3 他のグループが撮影したものを探す。 4 様々な素材に囲まれて学習していることに気づく。
参考資料	街並みやまちパーツの画像
準備品	iPad デジタルカメラ 筆記用具 校内地図 探検ボード 画用紙 油性ペン
実施場所等	学校




学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	画像を見ながら撮影した場所を想像する。 タブレットやデジカメの操作方法を知る。	街で撮影した画像を見せクイズをする。 撮影時の注意点、特に安全に撮影することを指導する。	意欲的に活動できたか。(観察)
2	校内で4～5名のグループで素材を撮影する。 撮影した場所を記録する。	グループ分けをする。 撮影場所を確認する。	課題迫及能力 (観察) コミュニケーション能力 (観察)
1	自分で撮影した写真を整理しワークシートを作成する。	わかりやすくプレゼンテーションするための方法を指導する。	写真を取捨選択し表現できたか。 (作品)
2	他のグループが撮影した場所を特定するために調査する。 調査結果を発表する。	児童の発言を補足したり言葉かけを行ったりする。	うまく表現できたか(発表・観察)

※今年度もコロナ禍で児童が校外へ出て撮影したり、見学したりすることができませんでした。そのため、校内のパーツから実際の景観から想像を広げる作業が難しかったようです。
成果としては、自分たちが学習している学校や住んでいる街並みについて考えるきっかけになったと思います。

② 実施報告書詳細

学校名 大阪市立佃西小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	<p>教師が撮影した画像に写っているパーツを見て、撮影場所や用途を答えるクイズをする。</p> <p>撮影機器の操作説明や撮影時の注意点を知る。</p>		<p>積極的に挙手し回答した。</p> <p>ノートPCのいろいろな機能があることに興味を示した。</p>
2	教室 校内	<p>グループ分けをして、グループ内で撮影場所や撮影ルートを相談する。</p> <p>撮影場所をマーキングして位置を地図で確認できるようにする</p> <p>校内のいろいろなものを探し、撮影する。</p> <p>撮影してきたものを班で鑑賞する。</p>		<p>校内の隅々まで見て回り、たくさんの写真を撮影した。</p> <p>撮影場所を校内地図にマークするのが難しかった。</p>
1	教室	<p>写真を整理する。</p> <p>写真を選び、発表原稿を書き、発表の練習をする。</p>		<p>写真を取捨選択し伝えたい内容を言葉にするのが難しかった。</p>
2	教室 校内 教室	<p>他のグループのワークシートと校内地図を持って場所を特定する。</p> <p>調査結果を発表する。</p>		<p>撮影場所を探すのが難しかったが、見つけたときはうれしかった。</p>

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点
校外に出ることができなくなったが、教師側がたくさん撮影したパーツを見せることで子どもたちの校内撮影が校舎の隅々まで探索する意欲につながった。
(2) 実施にあたり苦労した点
コロナ禍で児童が実際に校外に撮影にでられなかったことと、実施日程が変更しなければならなかったこと。
(3) 児童の反応
始めは、撮影することに興味を示していたが、最後の方は対象物を探すことに熱中していった。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化
子どもたちがパーツ探しに興味をもったことにより、今後の地域学習に生かせると感じるようになった。
(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕
今後、高学年になり歴史を学ぶときに地域の歴史や産業に興味をもち愛着をもてるようにしなければいけないと思った。